

インターネット回線の利用契約に係る仕様書

令和4年8月

地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

目次

1	目的.....	- 1 -
2	調達の概要.....	- 1 -
	（1）回線等の提供.....	- 1 -
	（2）インターネット接続サービス等の提供	- 1 -
	（3）運用保守.....	- 1 -
3	利用期間及び利用料金	- 1 -
	（1）利用期間.....	- 1 -
	（2）利用料金.....	- 1 -
4	接続地点及び住所.....	- 1 -
	（1）接続地点.....	- 1 -
5	仕様.....	- 1 -
	（1）回線等の仕様.....	- 1 -
	（2）インターネット接続サービスの仕様	- 2 -
6	ドメイン、 IP アドレス及び DNS サービスに関する要件	- 2 -
	（1）既設ドメインの維持管理	- 2 -
	（2）新規 JP ドメインの代行申請及び維持管理について.....	- 2 -
	（3）固定グローバル IP アドレスの付与について	- 2 -
	（4） DNS サービスの提供について	- 2 -
7	回線設置に伴う作業.....	- 3 -
	（1）回線設置等に必要となる作業.....	- 3 -
	（2）調整事項.....	- 3 -
8	保守対応	- 3 -
9	納入成果物.....	- 4 -
10	その他	- 4 -

1 目的

地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所（以下「法人」という。）では、法人内の情報共有や法人からの情報発信等を行うための、研究所情報システムを整備している。

本調達は、研究所情報システムにおいて利用する回線サービス等、インターネット接続サービス及びこれに付帯する運用保守に関するサービスの提供を受けるものである。

2 調達の概要

本業務における受注者の業務内容は以下のとおりである。なお、作業内容には、作業を行う過程で必要となる各種調査作業、プロジェクト管理及び法人に対する作業進捗実績報告等の作業を含むものとする。

（１）回線等の提供

回線開通にかかる敷設工事、回線終端装置の設置・接続を行った上で、回線及び回線終端装置（ONU 等）の提供を行うこと。

（２）インターネット接続サービス等の提供

インターネット接続サービスの提供、固定グローバル IP アドレスの提供、既設 JP ドメインの維持管理、新規 JP ドメインの代行申請・維持管理及びセカンダリ DNS サービスの提供を行うこと。

（３）運用保守

回線サービス、回線終端装置及びインターネット接続サービスの運用保守を実施すること。

3 利用期間及び利用料金

（１）利用期間

令和 4 年 12 月 1 日から令和 10 年 1 月 31 日まで（62 か月）とする。

（２）利用料金

初期費用を含めて、契約期間内の総額で提示すること。なお、初期費用は初月の費用とあわせて支払うものとする。

4 接続地点及び住所

（１）接続地点

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所

（２）住所

〒583-0862 大阪府羽曳野市尺度 442

（３）構内図

別紙のとおり

5 仕様

（１）回線等の仕様

ア 光ファイバーケーブルを使用した回線を前提とすること。

- イ 理論値速度は **1Gbps** 以上のベストエフォート型であること。
- ウ 回線は法人向けサービスであること。
- エ データ転送量に上限を設けることによる通信制限を行わないこと。
- オ 提供範囲は回線終端装置までとすること。
- カ 回線終端装置の提供インターフェースは、**1000BASE-T** とすること。

(2) インターネット接続サービスの仕様

- ア インターネット接続サービスを提供すること。
- イ 加入者側の装置に対して、固定グローバル IP アドレス (**IPv4**) の付与が可能であること。
- ウ 国内の主要 **IX※** に直接接続していること。
※**IX (Internet Exchange)** : インターネットの相互接続点をいう。
- エ **24 時間 365 日** の故障受付 (電話及びメール) を設けること。
- オ 故障発生時には、研究所等からの連絡を受け、速やかに原因切り分け・復旧支援を行うこと。
- カ 局舎間の通信交換伝送設備が冗長化されていること。

6 ドメイン、IP アドレス及び DNS サービスに関する要件

(1) 既設ドメインの維持管理

- ア 法人が取得している属性型 **JP** ドメイン (**kannousui ken-osaka. or.jp**) の管理を、既存のインターネット接続サービスを提供している事業者より引き継ぎを受け、本契約の期間中、維持すること。

(2) 新規 **JP** ドメインの代行申請及び維持管理について

- ア 法人が登録できる汎用型 **JP** ドメイン又は属性型 **JP** ドメインについて、1 ドメインを法人に代行して申請し、取得すること。この場合、登録するドメイン名は、法人と協議の上、申請すること。
- イ 法人が取得した **JP** ドメインを、本契約の期間中、維持すること。

(3) 固定グローバル IP アドレスの付与について

- ア 加入者側の装置に対して、固定グローバル IP アドレス (**IPv4** を 8 個。ただし、ネットワークアドレス及びブロードキャストアドレスを含む。) の提供を行うこと。
- イ 法人に割り当てた固定グローバル IP アドレスを、本契約の期間中、維持すること。

(4) DNS サービスの提供について

- ア 研究所情報システムにおいて、**DNS** サーバを構築するので、セカンダリ **DNS** の初期設定を行うとともに、インターネット回線利用契約の期間中、維持すること。
- イ 前項の **DNS** サーバの構築時期は、本契約の開始後となることがあるので、セカンダリ **DNS** の初期設定時期については、法人と調整すること。
- ウ 逆引き権限移譲設定を実施し、必要な設定を行うこと。

7 回線設置に伴う作業

(1) 回線設置等に必要となる作業

- ア 大阪府立環境農林水産総合研究所に設置したサーバ室（以下、「サーバ室」という。）への回線を敷設すること。ただし、既設の回線が利用できる場合はその限りではない。
- イ サーバ室の指定する場所への回線終末装置を設置し、回線及びインターネット回線接続用ルータ等に接続すること。

(2) 調整事項

- ア サービス開始までのスケジュールは、法人の提供するスケジュールを基に調整を行い、法人の承認を得ること。また、進捗状況については、法人に適宜報告すること。
- イ 設置作業は、原則として、平日（土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律（昭和二十三年法律第七十八号）に規定する休日及び12月29日から1月3日以外の日。以下同じ。）の9時から17時までの間に行うこと。ただし、既存回線等の運用に支障が発生する作業を行う場合は、夜間（17時から9時までの間をいう。以下同じ。）又は休日（平日以外の日。以下同じ。）に作業を実施させることもある。
- ウ 設置作業の実施に先立ち、あらかじめ設置場所の現場調査を行い、調査結果を法人に報告するとともに、作業内容について法人と協議すること。
- エ 回線の設置に当たり、既設管路を使用する必要がある場合は、法人と調整すること。
- オ 回線の設置作業の実施に当たっては、法人の担当者と十分調整するとともに、騒音等に配慮すること。
- カ 回線の設置作業に伴い、施設・設備等に損害を与えた場合は、修理等に必要な費用を全額受注者が負担の上、速やかに原状復帰すること。
- キ 回線の設置作業の実施に当たっては、法人及び既設設備保守業者と協力すること。
- ク 回線の設置作業の実施に当たっては、電気通信事業法（昭和五十九年法律第八十六号）及びその他関連法規を遵守するとともに、受注者の責任において円滑に進めること。

8 保守対応

(1) 保守対応

- ア 新規に敷設する全ての回線・回線終端装置、インターネット接続サービスについて運用及び保守を行うこと。
- イ 仮運用期間においても保守を行うこと。
- ウ 運用、監視及び保守体制に関する資料を提出すること。
- エ 本サービスの障害やメンテナンス情報について、メールやホームページ上で通知されること。
- オ 法人から障害の連絡があった場合は、それらの原因を究明し、障害対応又は予防対応すること。
- カ 保守受け付けについては、年間を通して24時間実施し、電話及びメールにて受け付けること。ただし、平日の夜間及び休日は電子メールのみでも可とする。

- キ 障害対応、復旧等に係わる運用、保守は、平日の 9 時から 17 時までを原則とするが、平日の 17 時までに保守受付を行った場合は、保守作業が夜間又は休日の時間帯にかかっても作業を行うこと。ただし、運用に支障のない障害及び軽微な障害等の場合は、法人と協議のうえ、翌開所日に保守作業を行う。
- ク 保守作業は軽微なもの、又は拠点の行事等の事情により担当者と別途日時調整した場合は除き、障害の連絡を受けて切り分け後、現地対応が必要な場合は、保守手配から原則 4 時間以内に設置場所に到着し、保守作業に着手すること。
- ケ 保守を受け付けた日を含め 4 日以上、休日が連続する場合は、平日と同様の保守を行うこと。ただし、運用に支障のない場合は法人と協議のうえ、平日に保守を行うことを可とする。
- コ 夜間等の理由により回線・回線終端装置を設置した場所に入室できない場合は、入室が可能となった時点で速やかに復旧作業を実施できるよう手配すること。
- サ 回線・回線終端装置以外に原因がある場合は、速やかに法人に障害の原因を連絡すること。
- シ 保守作業終了後は、書面による作業報告等を行うこと。
- ス 本サービスに関する最新技術や関連通信サービスに関する最新情報を法人に適宜提供すること。また、本サービスの拡張及び改善に対する法人からの相談に応じること。
- セ 回線終端装置及びこれらと接続されるその他の機器の相互接続における不具合について法人から連絡があった場合、速やかに府教育庁と協力して原因切り分け作業を行うとともに、復旧に努めること。復旧後は、書面による障害報告等を行うこと。

9 納入成果物

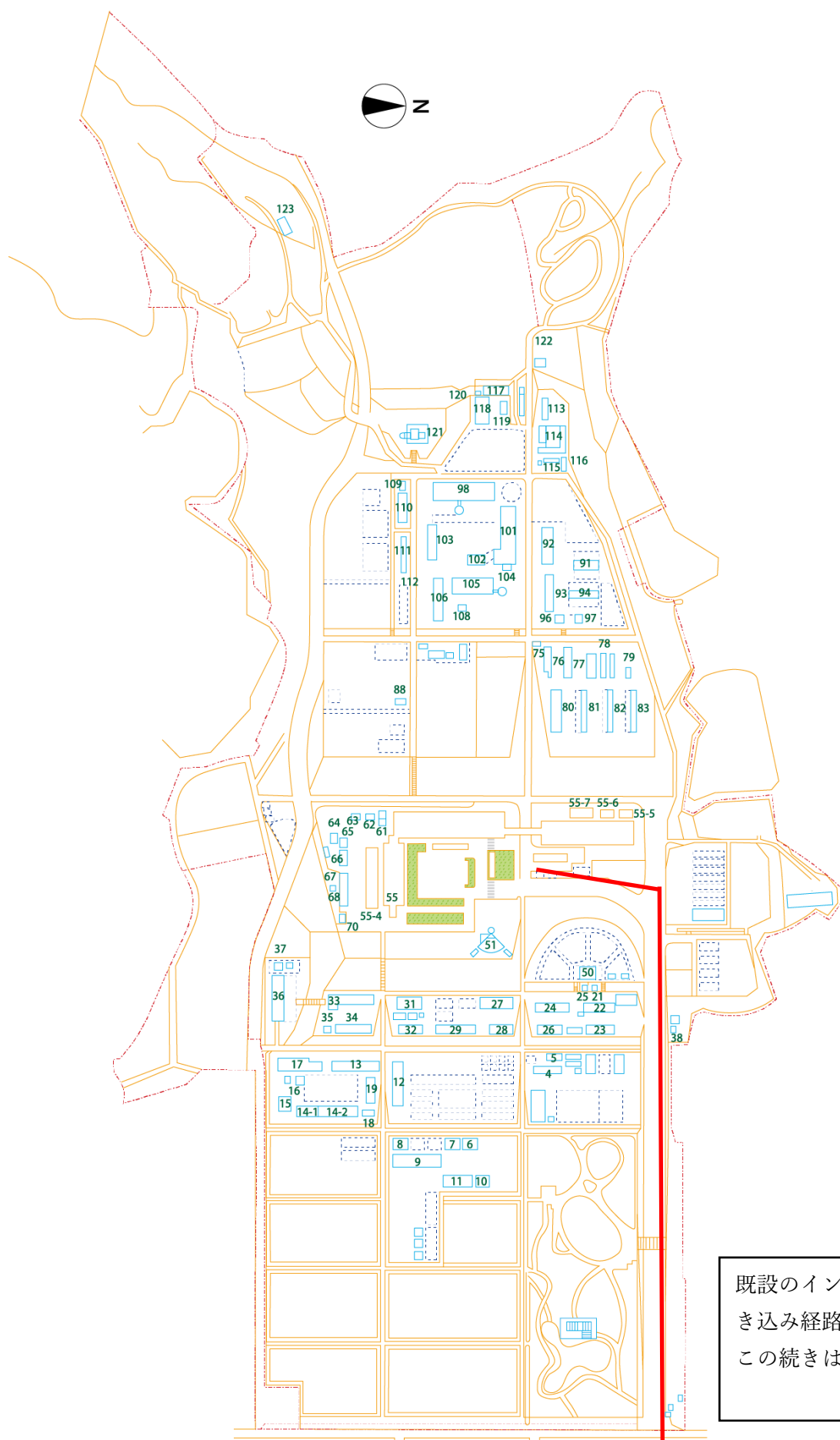
(1) 納品成果物

- ア 提供する回線の接続情報（施設内配線等）を作成の上、法人に提出すること。
- イ 提供するインターネット接続サービスの回線情報（敷設場所、回線種別、回線番号等）を法人に提出すること。
- ウ 納品成果物は電子データ及び紙媒体で各 1 部提出すること。

10 その他

- ア 法人の指示は、法人の指定する業者からの指示をもって法人の指示とする場合がある。
- イ 本仕様書に定めのない事項及び本仕様書に疑義が生じた場合は、法人と受注者が協議して、これを定める。

(別紙1) 既設インターネット回線の引き込み経路



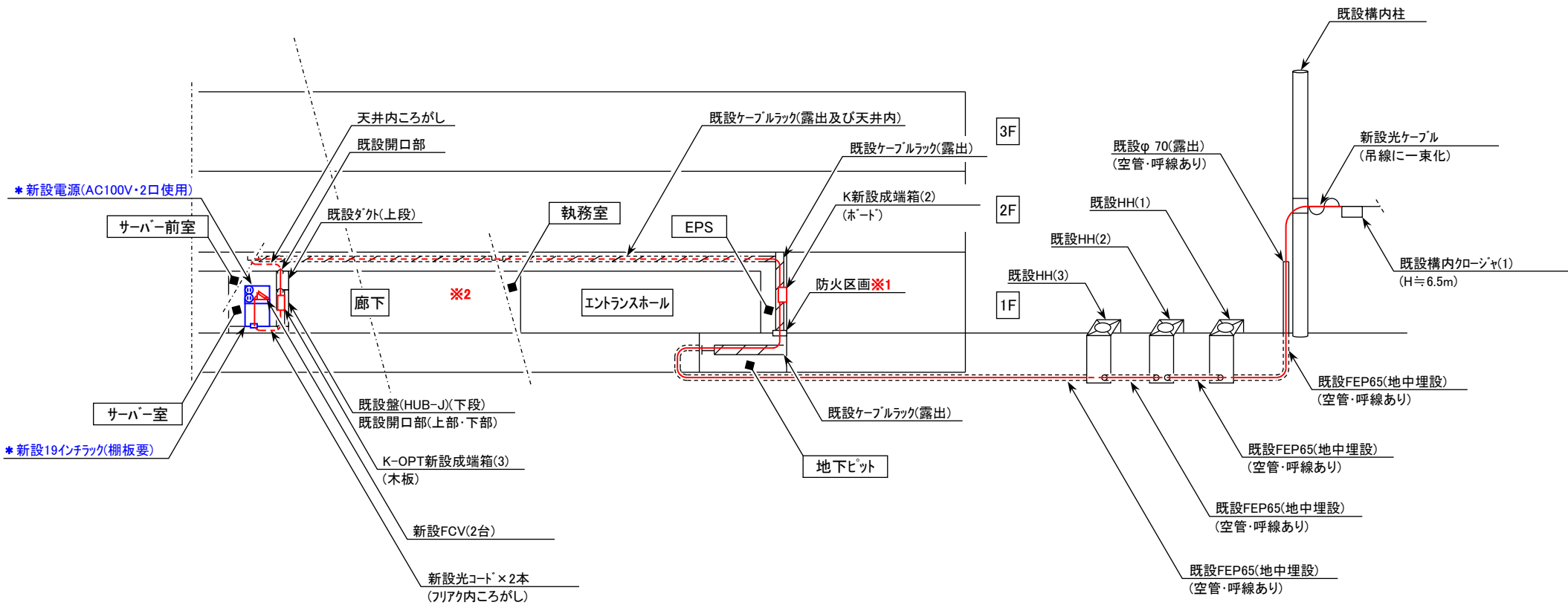
既設のインターネット回線の引き込み経路 (約 500m)
この続きは別紙2 参照

(別紙2)宅 内 調 査 報 告 書

取扱注意

ver.4

お客様名		地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所						※お客様からの要望事項・施工時注意事項・その他特記事項									
事業所名		大阪府立環境農林水産総合研究所						・構内既設クロージャ(1)での接続時、高所作業車が必要です。(H≒6.5m)									
ビル名		南棟			3 階建て			・配管ルートは打合せを基に作図しています。変更されている可能性がありますので事前に確認願います。									
住 所		羽曳野市尺度442						・1F 廊下でのケーブル敷設時、照明器具の取外しが必要です。									
サービス開始希望日																	
ご利用予定回線		速度		M		回線数		回線									
		速度		M		回線数		回線									
工事形態		枝分け		構内クロージャ(1)より		引込み方法		—									
引込み柱(線名札)		線名札なし						※既入線は線名札記入									
成端箱設置位置 (新設は寸法記入)		設置位置		形態	箱タイプ	寸法(H×W×D)		ケーブル芯数		※施工内容(付帯工事内容)							
		(1) 既設構内柱		既設	クロージャ	310 × 210 × 80		SM 20		1. 5.							
		(2) 1F EPS		新設	C-12MSA II	310 × 210 × 80		SM 20		2. 6.							
		(3) 1F サーバ-室		新設	C-4DS	220 × 160 × 50		SM 4		3. 7.							
										4. 8.							
端末機器設置位置		設置位置		機器名称	形態	寸法(H×W×D)		コネクタ形状		数量		<div>位置図</div>					
		1F サーバ-室															
機器用電源(アース付)		新設		AC100V/15A		平行2ピン		2口									
* お客様へのお願い事項・その他特記事項																	
* お客様施工内容(施工箇所については図面青色表記箇所をご確認願います。)																	
1. 新設19インチラック(棚板要)		7.															
2. 新設電源(AC100V/15A)		8.															
3.		9.															
4.		10.															
5.		11.															
6.		12.															
記事	※端末機器等は標準的な寸法等を記載していますが改良等により若干変更となる場合もあります。				調査日		H 28 年 8 月 9 日		調査会社		依頼会社		依番		1		
	※ご用意して頂く配管等は指定サイズ・仕様ではありませんので同等品をご用意下さい。				前回調査日				責任者		管理会社		図番		5		



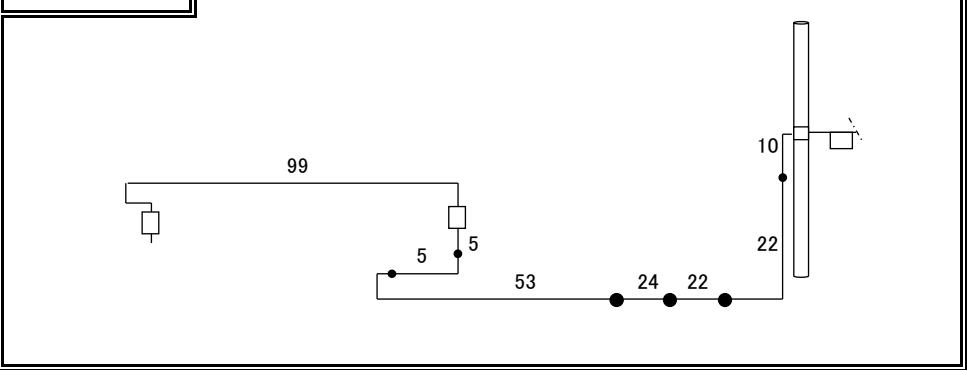
*新設電源(AC100V・2口使用)

*新設19インチラック(棚板要)

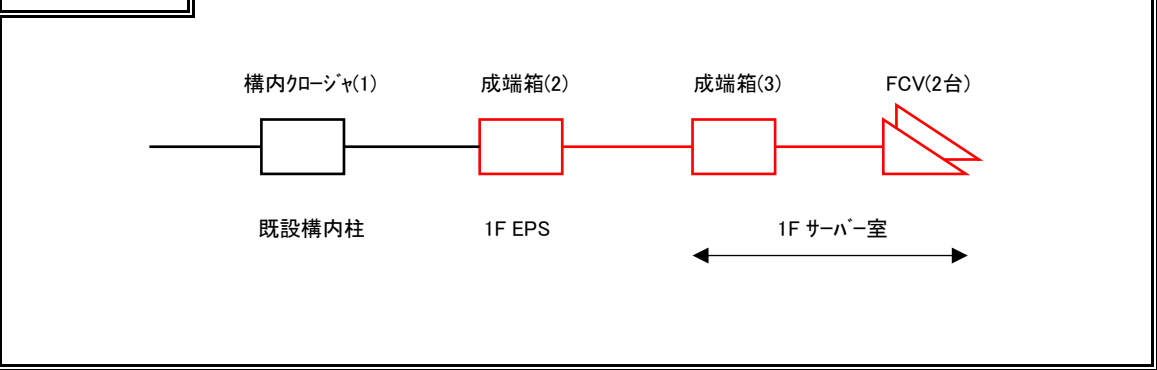
※1:積水化学工業製(プロセクトパテ)

※2:1F廊下でのケーブル敷設時、照明器具の取外しが必要です。

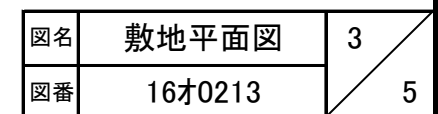
概算ケーブル長

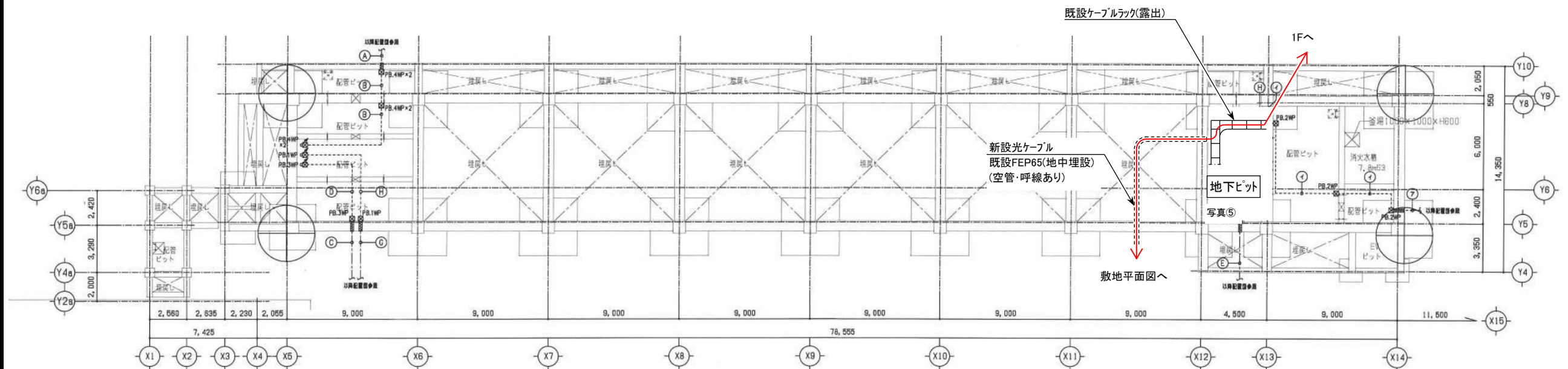


機器構成イメージ

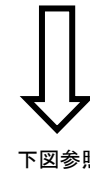
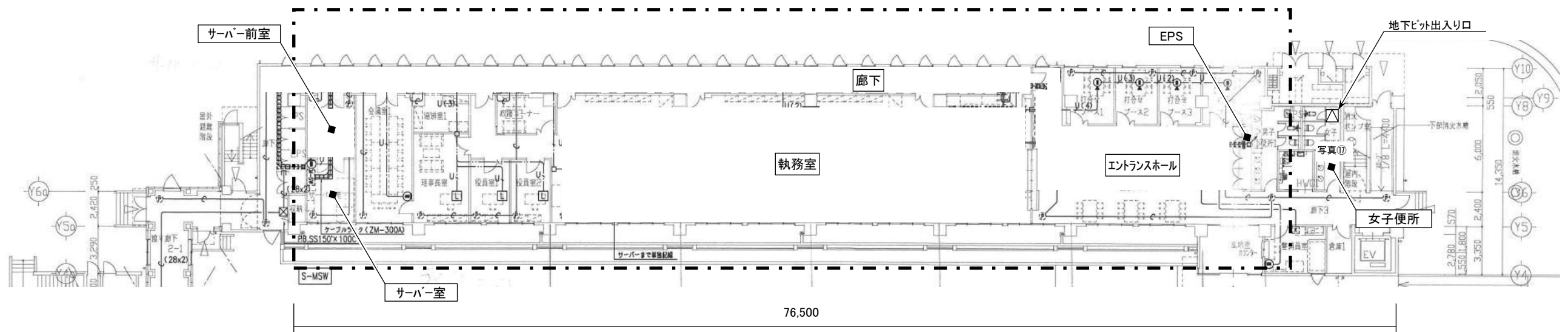


凡例		関電・NTT・構内柱
		マンホール・ハンドホール
		光ケーブル
		光ケーブル(吊線あり)
		Lアングル
		支持金具
		プルボックス
		点検口
		配管・ダクト・モール
		ケーブルラック
例		成端箱 (PD/PT)
		端末機器 (FCV等)
		電源 (AC/DC)
		貫通箇所
	識 別 区 分	
	お客様新設	青
	K-OPT新設	赤
	撤去	黄
概算ケーブル長	構内クロージャ(1) ~ 成端箱(2) 141 m	
	成端箱(2) ~ 成端箱(3) 99 m	
	光コード × 2本 10 m	
図名	系統図	2
図番	16才0213	5

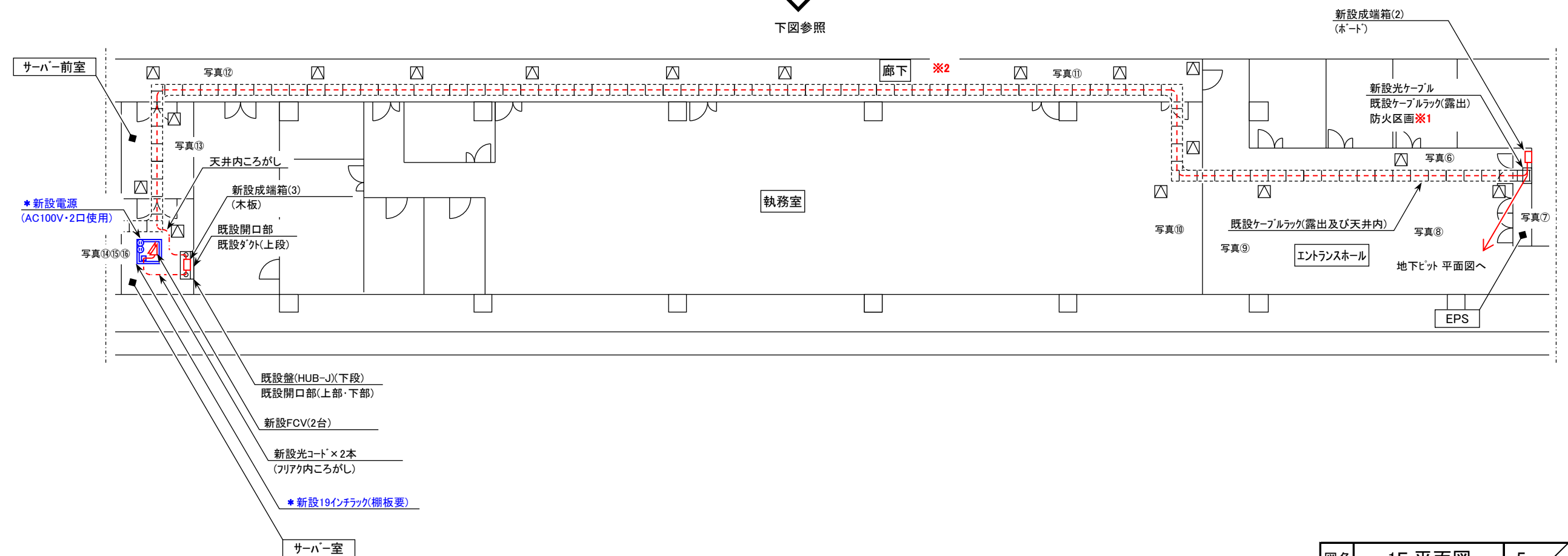




図名	地下ビツト 平面図	4 5
図番	16才0213	



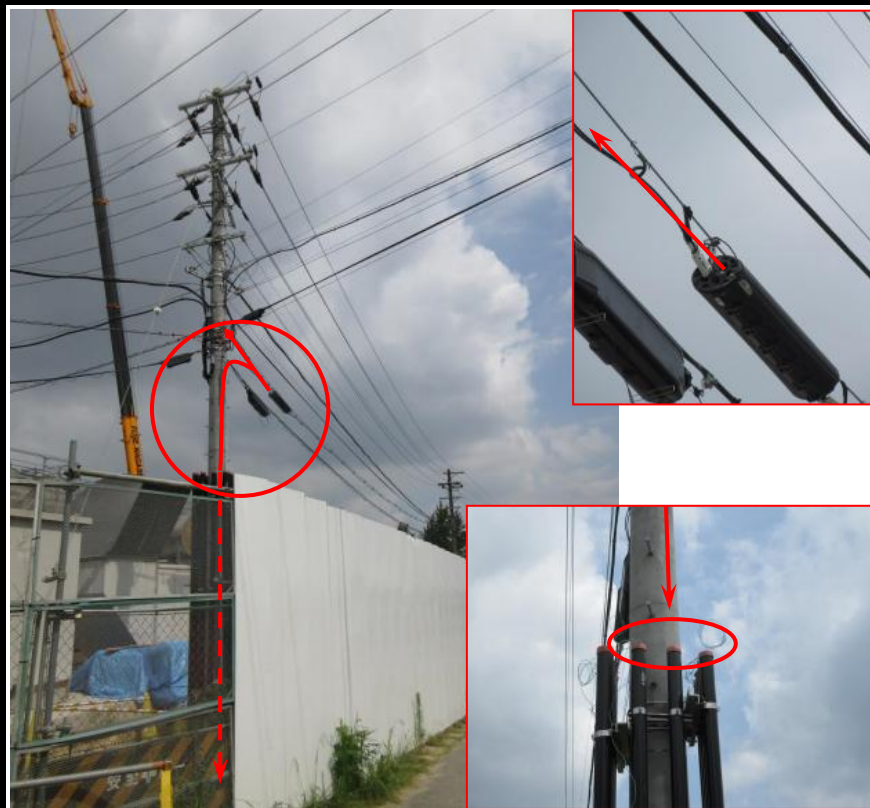
下図参照



※1:積水化学工業製(プロセクトパテ)

※2:1F 廊下でのケーブル敷設時、照明器具の取外しが必要です。

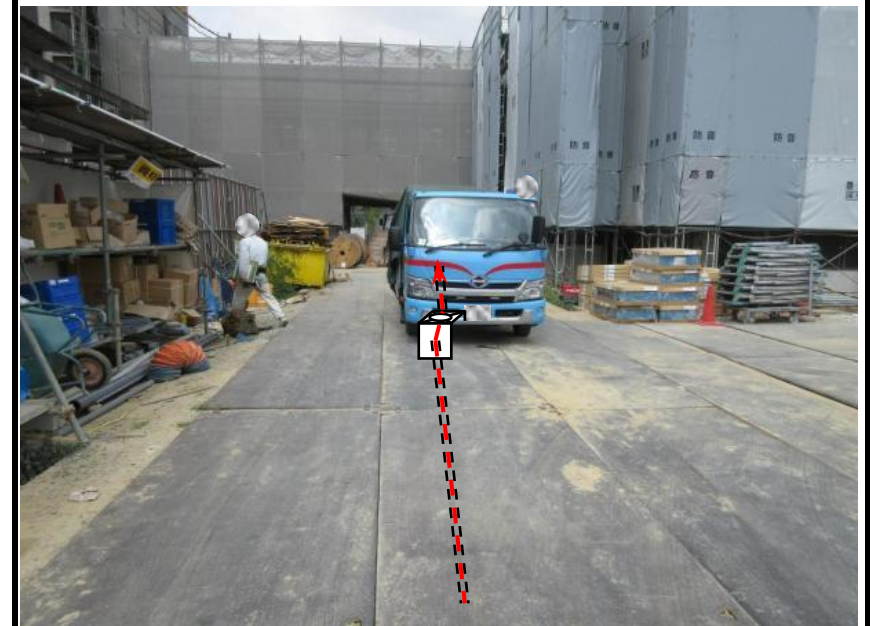
図名	1F 平面図	5
図番	16才0213	5



1 既設構内柱: 既設構内クロージャ(1)設置状況(既設φ 70)



2 既設HH(1): 新設光ケーブル敷設ルート(既設FEP65)



3 既設HH(2): 新設光ケーブル敷設ルート(既設FEP65)



4 既設HH(3): 新設光ケーブル敷設ルート(既設FEP65)



5 地下ピット: 新設光ケーブル敷設ルート(既設FEP65・既設ケーブルラック)



6 1F EPS: 新設成端箱(2)設置例



7

1F EPS:新設ドロッケーブル敷設ルート



8

1F エントランスホール:新設ドロッケーブル敷設ルート



9

1F エントランスホール:新設ドロッケーブル敷設ルート



10

1F 執務室:新設ドロッケーブル敷設ルート



11

1F 廊下:新設ドロッケーブル敷設ルート



12

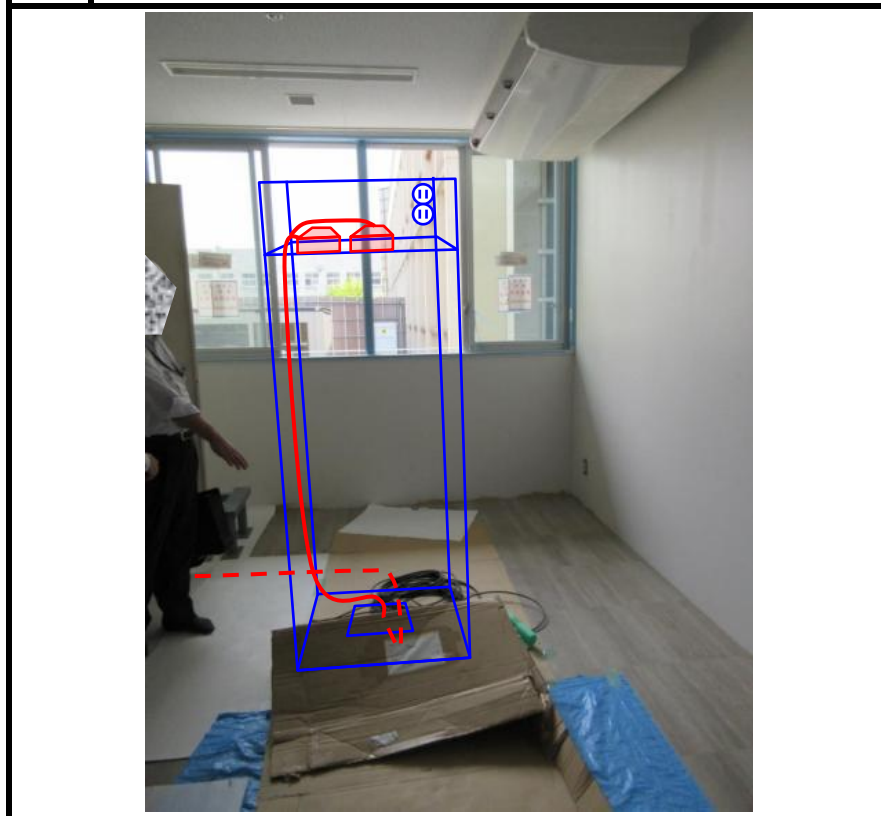
1F 廊下:新設ドロッケーブル敷設ルート



13 1F サーバー前室:新設ドロップケーブル敷設ルート(天井内部状況)

14 1F サーバー室:新設ドロップケーブル敷設ルート(既設開口部)

15 1F サーバー室:新設成端箱(3)設置例(フリアク内部状況)



16 1F サーバー室:新設光コード×2本・新設FCV(2台)設置例



17 1F 女子便所:地下ピット出入り口